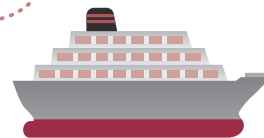


1日目 たくさんの人に見送られて、大洗港から北海道を目指し出航！

西部総合公園体育館で出発式を行った後、大洗港からフェリーに乗り込み出発です。保護者の方たちの見送りに、初めての船旅や家族と5日間離れての生活に不安を感じながらも、元気よく「行ってきます！」と手を振っていました。



元気に行ってくださいーす！



2日目 19時間フェリーに乗ってようやく到着。えこりん村を見学後、夕張市へ



▲ブリッジ(操舵室)を見学

船内では、ブリッジ（操舵室）を特別に見学させてもらいました。船長から、船に関わる機械などの説明を受けました。

最初に向かったえこりん村では、ギネスに認定された、1粒の種から栽培した世界一大きなトマトの木を見学。その他、たくさんの動物たちにも出会いました。

最終目的地の夕張市では、メロン熊も出迎えてくれ、子どもたちも大興奮でした。



▲世界一大きなトマトの木にびっくり

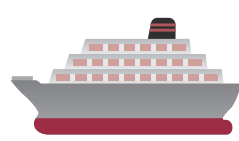


▲メロン熊の登場に大興奮

5日目

常陸大宮市に到着。
家族にたくさんのお土産（思い出）を持って帰りました。

無事に帰ってきてねー！



4日目 <北海道最終日>札幌市内班別行動・アイヌ民族博物館見学



▲札幌市内を見学

最終日の午前中は、市内を班別で行動しました。ボランティアガイドの解説を聞きながら、市内の名所等を回りました。

午後は、アイヌ民族博物館で伝統の舞踊や楽器の演奏を体験し、アイヌ民族の文化を学びました。そして北海道のたくさんの思い出を抱えて、帰りのフェリーへ。



▲伝統楽器ムックリ演奏体験



▲アイヌ伝統舞踊を体験

いつまでも 心に残る
思い出を！
～ ふれあいの船 北海道体験学習 ～

市内の小学6年生を対象とした「ふれあいの船」を実施しました。5日間の行程で、子どもたちは友人たちと共同生活を送り、協力しました。そして見知らぬ土地で人々や自然と触れ合い、普段の生活では味わえない貴重な体験をしてきました。

A班（7月21日～25日）189人

B班（7月27日～31日）158人

3日目 夕張市内で体験活動を行い、地元の方と交流

夕張市内では、様々な活動や見学をしました。夕張メロンを使ったジャム作りや、トレッキングと化石採取（A班は雨のためアンモナイトレプリカ作り）を体験。みんな初めてのことばかりでしたが、友だちと協力しながら進めることができました。また、夕張市発展の要となった石炭について、博物館でガイドの解説を聞きながら学びました。

地元の方との交流では、事前に船内などで夕張について学習し、質問を考え、仲間と協力して準備をしました。当日のふれあいタイムでは、たくさんの質問をして様々な話を聞きました。新たな夕張市の一面を知ることができたようです。



おいしくなーれ！

大きい化石はどこかな？



▲地下1,000mの炭鉱内を疑似体験



▲地元の方との懇談



▲アンモナイトレプリカ作り